電気化学創刊のご挨拶

入江 寛

この度、新しい季刊誌「電気化学」(英語表記は Denki Kagaku) を創刊する運びとなりました。

Electrochemistry 誌のルーツは電気化学会前身の電気化学協会の刊行誌として 1933 年に創刊された「電気化学」誌に遡ります。1961 年から誌名を「電気化学および工業物理化学」と改めました。その後、1999 年に「Electrochemistry (電気化学および工業物理化学)」と改称し、2017 年の第 85 巻まで、電気化学および工業物理化学分野の専門学術誌としての役割を果たしてまいりました。その間、2012 年から J-Stage による電子版の公開、2013 年から電子投稿・審査システムの運用開始、2014 年から Electrochemistry 誌発行と同時にメールマガジンでコンテンツを紹介するなど、時代の要求に応じて Electrochemistry 誌は進化し続けてきました。

一方、Electrochemistry 誌では、毎号の書誌情報確定後に電子版公開を行ってききましたので、投稿論文の発行に時間を要していました。昨今では、著者校正済み論文を、その書誌情報が確定する前に Digital Object Identifier (DOI) を付与して出版する早期公開がトレンドとなっています。また、Electrochemistry 誌は Impact Factor (IF) が 2014 年に 1 を超えましたが、それ以降は低下傾向にあります。論文の発行に時間を要していることもその一因と考えられます。電子投稿システムの運用に伴って海外からの論文投稿数が急増し、編集幹事・編集委員による論文審査の負担が大きくなっていることも迅速な審査を妨げていました。なお、このことには対策を講じ、効果が出始めているところです。このように Electrochemistry 誌を取り巻く環境が変化し、課題が顕在化し、さらに時を同じくして本学会の財務状況が悪化し、事業の合理化や経費削減の必要に迫られました。これらに対応するため、ここ数年をかけて編集委員長を中心に編集幹事会、編集委員会で刊行誌の今後の在り方について継続的に議論してきました。その結果、2018 年より Electrochemistry 誌は学術論文を掲載するオープンアクセスのオンラインジャーナル「Electrochemistry」誌と季刊誌「電気化学」誌に分冊化することになりました。本号はそのルーツと同じ名前を引き継ぐ、新たな「電気化学」誌の創刊号です。伝統を継承し、巻数は続き番号としましたので第 86 巻からのスタートです。

今後、「電気化学」誌は、3, 6, 9, 12 月にそれぞれ Spring, Summer, Autumn, Winter 号と称してフルカラーの季刊冊子体として発行されます。そのコンテンツは、電気化学および工業物理化学分野の研究・開発に関連するトピックスを紹介する特集や測定法、肩の凝らない読み物、支部・委員会・研究技術懇談会の活動紹介などになります。「電気化学」が引き続き、会員の皆様のお役に立てるような情報を提供できるよう、紙面の充実に取り組んでまいりますので、今後の「電気化学」誌にご期待下さい。

Hiroshi IRIE
平成 29, 30 年度本会編集理事
山梨大学クリーンエネルギー
研究センター教授

平成 29 年度編集幹事会・委員会一同